

株式会社 関西宇部グループ社長メッセージ

今回は6月26日開催予定のUBE三菱セメント定時株主総会について考えます。
内容は上場を控えた会社の代表取締役社長と代表取締役会長が急に変わる大きなものです。今回の背景は全く不明であり、一切特定せず、世間一般的な話として聞いていただきたいと思います。

＜その1、リーダーのあるべき姿・条件とは＞

京セラを立上げてJALを3年で再生して再上場させたとして有名な経営者の稲盛和夫さんの本を読んだことがあります。リーダーは能力だけでは勤まらない。能力はリーダーになるための入場券であり、「人徳と品位」こそが、人をついてこさせる力である。そして、人徳は生まれつきではなく、毎日の行動で磨かれる。

上場企業やそのグループ会社である関西宇部も同様に求められます。私含めて、管理職の方、特に執行役員と部長の方は人徳と品位を意識していきましょう。

＜その2、株主の力＞

今回人事は定時株主総会決議事項であるため、UBEと三菱マテリアルの両株主による大きな経営判断です。私が思ったのは、会社の株主の力はやはり大きいということ。自分の話をすると、ややもすれば株主（UBE三菱セメント）は守ってくれる、支援してくれるものと甘く考え勝ちでした。株主は、大所高所から独自の意思と権限を持ち、シビアに経営判断していきます。今までステークホルダーといえ、どちらかという、販売先・仕入先等に目が行き勝ちでした。会社は株主だけのものでなく株主だけを見ればよいわけではありませんが、株主のUBE三菱セメントが安心するように、関西宇部は、MUC Cグループ全体のベクトルを合わせる、安定した経営を続けるように我々一丸となって努力せねばと考えました。

2026.6.24

代表取締役 太田正彦